

情報学部 コンピュータシステム学科

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
幸谷 智紀	Tomonori Kouya	教授	日本大学大学院 理工学研究科 (数学専攻) 博士後期課程修了	博士(理学) (日本大学)	情報処理学会、日本応用 数学会、SIAM	高性能計算、コンピュ ータネットワークの応用	高性能かつ高精度な数値 計算法の研究、自律的な Webアプリケーション作 成のための基盤研究	・多倍長数値計算ライブラリの開発および普及促進 ・Strassenのアルゴリズムを用いた多倍長行列積計算の高速化 ・統合型数学ソフトウェアの教育利用
國持 良行	Yoshiyuki Kunimochi	教授	静岡大学大学院 工学研究科 修士課程修了 静岡大学大学院 電子科学研究科 博士課程単位取得退学	博士(情報科学) (デブレツェン大 学)	電子情報通信学会、情報 処理学会、ソフトウェア 科学会	計算機科学	計算機科学	(1) 代数的符号理論において、Petri netの生成するprefix codeの形式言語的性質を明らかにした。(2) グラフ間の準同型写像を定義して、準同型に順序を導入し、それらが構成する束の性質を明らかにした。(3) 関数型言語の並列処理系をグラフィダクションマシンを使った実現法を提案した。
足立 智子	Tomoko Adachi	教授	慶応義塾大学大学院 理工学研究科 後期博士課程修了	博士(理学) (慶応義塾大学)	ICA(The Institute of Combinatorics and its Applications)、日本応用 数学会、日本数学会、情 報処理学会、日本教育カ ウンセリング学会	応用数学、代数学、暗号理 論、実験計画法(統計科 学)	数独や魔方陣などの数学 パズルを題材にした数学 の諸性質、秘密情報分散 法、実験計画法	・ラテン方阵の代数的構造と数独パズル解の構成(2021), ・Modular magic relabelings on a modular magic sudoku with the minimum order(2021), ・数独とModular magic sudoku(2021)
櫻井 将人	Masato Sakurai	教授	宇都宮大学大学院 工学研究科 博士後期課程 生産・情報工学専攻	博士(工学) (宇都宮大学)	照明学会、日本視覚学 会、日本人間工学会、産 業保健人間工学会、日本 感性工学会、日本色彩学 会、日本建築学会	心理物理学、色彩工学、 人間工学、感性工学	感覚・知覚・認知、感 性、HCI	A. 著書 ・ [1] M. Sakurai, Parafovea, Encyclopedia of Color Science and Technology, Springer, R. Luo ed., 1-4 (2016). B. 有査読学会論文 ・ [1] 奥田紫乃, 桜井将人, “格子デザインが格子越しの景色の美しさ評価に与える影響-格子の開口率および隙間形状による検討-,” 日本感性工学会論文誌, Vol.16, No.1, 83-90 (2017). ・ [2] 高杉敬吾, 池永訓昭, 桜井将人, 加藤未佳
芦澤 恵太	Keita Ashizawa	教授	静岡大学大学院 理工学研究科システム科学専 攻 博士後期課程修了	博士(理学) (静岡大学)	電子情報通信学会、映像 情報メディア学会、日本 応用数学会	画像情報処理、信号圧 縮、応用数学	画像符号化、信号圧縮	画像の非可逆圧縮方式の提案やウェーブレット変換を用いた画像処理について発表している： ・ エッジと平行方向の直流成分に対するハール変換を用いたモスキートノイズの軽減方法, 画像電子学会誌, 49(1), pp.3-11(2020). ・ Directional Lifting-based Wavelet Transforms and their Applications, Proceedings of Ninth International Conference on Information, Tokyo Japan, (2018) . ・ DCT とハール変換を縦横に組み合わせた新たな周波数変換方式の提案と画像圧縮におけるモスキートノイズの軽減, 電子情報通信学会論文誌(A), Vol.J96-A, No.7, pp.484-492 (2013)

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
富樫 敦	Atsushi Togashi	特任教授	東北大学大学院工学研究科電気及通信工学専攻博士後期3年の課程修了	工学博士（東北大学）	情報処理学会，電子情報通信学会，人工知能学会，IEEE，ACM	情報学基礎理論、数理情報学、統計科学、ソフトウェア、知能情報学、	映像脈波からの自律神経指標の獲得(AI・機械学習) 画像データからの機器情報・生活スタイルの推測(深層学習・転移学習)	<ul style="list-style-type: none"> Machine Learning-Based Framework for the Analysis of Project Viability IEEE ICCCS 2018(IEEE Xplore Digital Library, 13 September 2018). Published in: 2018 3rd International Conference on Computer and Communication Systems (ICCCS), 27-30 April 2018, INSPEC Accession Number: 18080393, DOI: 10.1109/CCOMS.2018.8463271. J.M. Tshimula, A. Togashi Towards Financial Inclusion-based Monetization Model for Startups Drive IEEE TEMS-ISIE 2018(IEEE Xplore Digital Library, 13 September 2018). Published in: IEEE Technology and Engineering Management Conference (TEMSCON2018年6月, Chicago) A. Togashi, J.M. Tshimula, N. Solange
大石 和臣	Kazuomi Oishi	准教授	横浜国立大学大学院環境情報学府情報メディア環境学	博士（工学） （横浜国立大学）	電子情報通信学会	暗号と情報セキュリティ	暗号プロトコル、耐タンパーソフトウェア、組込みシステムセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 第25回USENIX Security Symposium 調査報告2017 データメモリを利用する耐タンパーソフトウェア2016 WhibOx 2016 White-Box Cryptography and Obfuscation 参加報告2016 第23回USENIX Security Symposium参加報告2015 自己破壊的耐タンパーソフトウェアの試験実装 第23回USENIX Security Symposium 参加報告 自己破壊的耐タンパーソフトウェアの試験実装と評価
高野 敏明	Toshiaki Takano	准教授	三重大学大学院工学研究科システム工学専攻	博士（工学） （三重大学）	IEEE、人工知能学会、日本ロボット学会、知能情報ファジィ学会	人工知能、機械学習（特に強化学習）、ソフトウェアコンピューティング	強化学習における転移学習の研究、機械学習を用いたアプリケーション開発、生成モデルに基づいたロボットの物体概念獲得に関する研究強化学習における転移学習の研究、機械学習を用いたアプリケーション開発、生成モデルに基づいたロボットの物体概念獲得に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 強化学習における転移学習の研究、 ロボットの知覚に基づいた能動学習の研究

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
山岸 祐己	Yuki Yamagishi	講師	静岡県立大学大学院 経営情報イノベーション研究科 経営情報イノベーション専攻	博士（学術） （静岡県立大学）	日本データベース学会	データマイニング、情報推薦、情報可視化	時系列データの分析手法の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ Pivot generation algorithm with a complete binary tree for efficient exact similarity search ・ Visualizing switching regimes based on multinomial distribution in buzz marketing sites ・ Modeling of Travel Behavior Processes from Social Media ・ A Method to Divide Stream Data of Scores over Review Sites ・ Learning Attribute-weighted Voter Model over Social Networks ・ COMPLEX NETWORKS 2020 The 9th International Conference on Complex Networks and their Applications December 1-3, 2020 – Madrid, Spain Title: Spatio-Temporal Clustering of Earthquakes Based on Average Magnitudes Authors: Yuki Yamagishi, Kazumi Saito, Kazuro Hirahara and Naonori Ueda Status: Accepted for POSTER PRESENTATION and INCLUSION IN THE PROCEEDINGS to be published by Springer Verlag as a FULL PAPER
四宮 友貴	Yuki Shinomiya	講師	高知工科大学大学院 工学研究科基盤工学専攻 博士後期課程修了	博士（工学） （高知工科大学）	日本知能情報フuzzy学会	知能情報学、ソフトウェアエンジニアリング	画像認識、機械学習、パターン認識、ソフトウェアエンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hongtao Zhang, Yuki Shinomiya, Shinichi Yoshida, "3D MRI Reconstruction based on 2D Convolutional Neural-Network Super-Resolution Technology," Sensors, 2021. ・ 楠瀬 翔也, 四宮 友貴, 牛若 昂志, 前田 長正, 星野 孝総, "免疫細胞の自動解析に向けた深層学習による解析対象の自動指定," 知能と情報 (日本知能情報フuzzy学会誌), vol. 33 (1), pp. 1--6, 2021. ・ Yuki Shinomiya and Yukinobu Hoshino, "A feature encoding based on low space complexity codebook called fuzzy codebook for image recognition," International Journal of Fuzzy Systems, vol. 21 (1), pp. 274--280, 2019. ・ Yuki Shinomiya and Yukinobu Hoshino, "A proposal of prior probability-oriented clustering in feature encoding strategies," PLOS ONE, vol. 14 (1), 2019. ・ Yuki Shinomiya and Yukinobu Hoshino, "A quantitative quality measurement for codebook in feature encoding strategies," Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, vol. 21, pp. 1232--1239, 2017.

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
河野 郁也	Fumiya Kono	講師	会津大学大学院 コンピュータ理工学研究科情 報システム学専攻 博士後期課程修了	博士(コンピュー タ理工学)(会津大 学)	情報処理学会	高性能計算、並列計算・ アーキテクチャ、実アプ リケーション応用	GPU, FPGA等のアクセラ レータを利用した科学技 術計算の高速化とその応 用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河野郁也, 中里直人, 台坂博, 石川正: OpenCL を用いた四倍精度行列乗算のFPGA上実装と評価, 日本応用数理学会 2022年度年会 ・ F. Kono, N. Nakasato, N. Hirata, and K. Matsumoto, Acceleration of gravitation field analysis for asteroids by gpu computation, 2021 IEEE 14th International Symposium on Embedded Multicore/Many-core Systems-on-Chip (MCSoc), (2021) ・ F., Kono, N., Nakasato: Performance Evaluation of Tsunami Simulation Exploiting Temporal Parallelism on FPGAs using OpenCL, The 10th International Symposium on Highly-Efficient Accelerators and Reconfigurable Technologies (HEART 2019), (2019) ・ F., Kono, N., Nakasato, K., Hayashi, A., Vazhenin., S., Sedukhin: Evaluations of OpenCL-written Tsunami Simulation on FPGA and Comparison with GPU Implementation, The Journal of Supercomputing, Vol. 74, pp. 2747-2775, (2018)